

かしてつ沿線地域公共交通戦略会議の総合事業について

計画事業

現況及び課題

- 鹿島鉄道は、経営不振により平成19年3月末で廃線となり、旧軌道敷きに並行して走る国道355号を鉄道の代替バスが運行中である。
- 代替バス利用者は、運行本数の減少や定時性・速達性の低下により、鉄道時代と比較して4割程度まで減少している。
- 自家用車に偏った交通環境から、駅周辺の混雑、公共交通の衰退、移動制約者の増加、まちの活力・魅力の低下が懸念されている。

活性化の目標・方向性

- 鹿島鉄道の旧軌道敷きをバス専用道路として整備し、本事業の活用を活用して、新型車両の導入、バスの実証運行、バスロケーションシステムの導入、利用促進活動等を行うことで、バス利用者を増加させ、公共交通の充実とかしてつ沿線地域及び中心市街地の活性化を図る。

実施する事業の内容

- 新型バス車両の導入(平成21年度)
 - ◆ 乗りやすく親しみの持てるバス車両の導入
- バスの実証運行(平成21年度～23年度)
 - ◆ JR石岡駅～旧常陸小川駅を基本に、効果的な運行計画を検証するための実証運行を実施
- 利用円滑化事業(平成21年度～平成23年度)
 - ◆ 携帯電話・インターネット等を通じたバスロケーションシステムの導入
- 利用促進事業(平成21年度～平成23年度)
 - ◆ モビリティ・マネジメントの推進や、利用促進のための検討、PR、イベント活動等
- < 関連事業(参考) >
- かしてつ跡地バス専用道化事業Ⅰ期工事(平成21年度)
 - ・ 街路事業(石岡市区間)、地域活力基盤創造交付金(小美玉市区間)
- バス停周辺整備
 - ・ 都市交通システム整備事業

かしてつ沿線地域公共交通戦略会議 : 総合事業の実施区域

